

グローバル COE プログラム「生体シグナルを基盤とする統合生命学」

平成23年度グローバル COE リサーチ・アシスタント (RA) 募集要項 (生科専攻)

1. 趣旨

「生体シグナルを基盤とする統合生命学」を身につけた国際的レベルの博士課程大学院生の育成をめざす。

2. RA の研究業務委嘱内容

グローバル COE プログラム「生体シグナルを基盤とする統合生命学」の一環として自らの研究を推進する。得られた成果は、各年度末に研究業務終了報告書として提出する。なお、RA として研究することにより得られたデータはグローバル COE 成果報告として使用されることがある。

3. 募集の対象

理学系研究科生物科学専攻もしくは生物化学専攻博士課程に在学中の大学院生（*注1）。ただし、このうち分子細胞生物学研究所に所属する大学院生で、指導教員が本グローバル COE プログラム「生体シグナルを基盤とする統合生命学」の事業推進担当者となっている場合は、分子細胞生物学研究所にて別途募集される RA に応募すること。指導教員が事業推進担当者となっていない場合は、理学系へ応募することができる。「事業推進担当者」について不明な場合は、各自の指導教員に前もって確認すること。
なお、他のGCOEプログラムのRAとの重複受給は認めない。

4. 研究業務単価

研究業務を委嘱する大学院生には、研究計画書の審査結果に応じて月額60,000円あるいは80,000円を支給する。

5. 委嘱期間

平成23年4月1日～平成24年3月31日

6. 申し込み方法

提出：**平成23年2月7日（月）午後5時（厳守）**までに、各専攻の事務室に提出すること。

申請書：所定のグローバル COE・RA 研究業務計画書（様式1）、および所定の履歴書（本人署名・捺印）に必要事項を記入し、オリジナル**1部**とコピー**3部**の計**4部**を、指導教員の所見（計画書中の第5ページ）1通、学生証のコピー**4部**（これがあれば、履歴書の顔写真は不要）、とともに提出すること。なお、委嘱決定後に、事務で給与所得者の扶養控除等（異動）申告書、給与の全額口座振り込み申出書をもらい、それに記入し、後日提出すること。

○ 申請書、および履歴書のワードファイルは、各専攻のホームページからダウンロードすること。

7. 選考方法

本拠点に設置する RA 評価小委員会において委嘱者の選考を行う。

8. 採用者決定の時期と通知

委嘱者の決定及び通知は、平成23年2月末までに行う予定。

9. 給与の交付

平成23年4月分（翌月5月支給）より開始。但し、研究業務に対する進捗状況や態様に問題がある場合は、委嘱期間の途中で委嘱内容の変更又は委嘱の取り止めを行う場合がある。

10. 年度末成果報告

委嘱者は平成24年3月2日（金）午後5時（厳守）までに所定のグローバル COE・RA 研究業務終了報告書（様式5）を作成し、各専攻の事務室に提出すること。なお、年度末成果報告書未提出の場合は、次年度の採用取り消しになるので、注意すること。

（注1）ただし、日本学術振興会の DC1, DC2 に採用されている大学院生と国費留学生は応募できない。その他の奨学金、あるいはそれに相当する立場で経済的支援を受けていても本制度に応募する事は差し支えない。このような場合は、その制度名と現在受給している金額、予定されている受給期間を申請書の該当欄に正確に記載すること。これらの状況を考慮に入れて RA 申請者の採択判定を行う。なお必要に応じて、応募者本人あるいはその指導教員に詳細を問い合わせることがある。

また、途中で本 RA の資格を喪失した場合、速やかに申し出る義務がある。また、この場合も、成果報告書を提出しなくてはならない。